

2025 年度(第 7 回)
社会医学系専門医認定試験資格 A 実施要項

2025 年 4 月

1. 試験日時:

【筆記試験】2025 年 9 月 6 日(土) 13 時～14 時

【面接試験・グループワーク】2025 年 9 月 7 日(日) 9 時 30 分～18 時(受付:9 時開始)

2. 試験本部※:日本医師会館(〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16)

●本試験にかかる問い合わせは「6.受験申請 (4)」をご参照ください。

3. 試験方式: WEB 方式

※面接試験時間と試験本部につきましては、受験者数により変更する可能性があります。

4. 試験の目的

社会医学系専門医としての質の担保とともに、人材確保の面も考慮して、社会医学系専門医としての知識と技術、態度を客観的に評価。社会医学系専門医として獲得すべき8つのコア・コンピテンシーに分類された能力と7つの専門知識の習得到達度、および主分野、副分野での実践における専門知識の習得状況を評価する。

5. 受験資格

社会医学系専門医認定試験の受験資格は、専門研修プログラムの専攻医に登録し、原則として3年の研修を修了した者である。

<基本条件として、下記の3つの条件は必須>

- (1) 2025 年 4 月 1 日現在医歴 5 年以上(4 月中の医籍登録者も含む)
- (2) 臨床研修 2 年修了者(2005 年以降に医師国家試験を合格した者に限る)
- (3) 専攻医の専門プログラム修了者
 - ① 1つの主分野および2つの副分野における実践経験
 - ② 各論的課題全 22 項目中経験した3項目以上の実践レポート、合計5件以上の作成
 - ③ 基本プログラムの履修(7科目×7時間=49時間)
 - ④ 協会構成8学会の学術大会及び公衆衛生情報研究協議会研究会(事務局:国立保健医療科学院)での発表(筆頭演者に限る)または協会構成8学会誌への論文発表(筆頭著者に限る)1件以上(書類提出時に完了していること)
 - ⑤ 専攻医手帳への必要な研修記録とフィードバックの実施の記録
 - ⑥ 担当指導医による専門研修の目標への到達の確認

※今回の試験より、受験資格対象者を研修プログラム修了から原則 3 年間とします。

ただし、育児休暇・介護休暇・病気休暇など、特別な事由がある期間は、上記の期間に算定しません。

研修プログラム修了から 3 年を超過している場合、「社会医学系専門医試験_受験期間超過理由書」をご提出ください。

6. 受験申請

専門医認定試験受験申請者は、受験料の振込を終えてから、専門医認定試験受験申請書を含む以下の書類をメールの添付文書にて事務局に送付すること。

締切は5月30日(金)必着とします。

(1)申請書類

以下の書類を電子媒体(メールの添付文書等)・郵送にて事務局に送付すること。

※可能な限り電子媒体にてご提出ください。

※下記①～③については、電子媒体の他、郵送でも送付してください。

① 専門医認定試験受験申請書

② 指導医評価表

③ 実践レポート 5件以上

(メール添付はPDF:レポート1件をA4(印刷して読めるフォントの大きさ[10pt程度]・1頁とする)

④ 本人確認用の写真ファイル(JPGファイル)

⑤ 専門研修プログラム修了認定証(研修期間が令和7年3月31日までのもの)

⑥ 専攻医手帳(指導医氏名をまれなく記載すること)

⑦ 受験料振込明細書のコピー

※申請書には試験前・試験当日に連絡可能な携帯電話番号、自宅アドレス等を併記すること。

※メール添付にて上記ファイルのご提出の際はセキュリティに留意してご提出ください。

(2)受験料

19,800円(消費税10%込)

振込先口座

金融機関:三菱UFJ銀行 四谷支店(051)

預金種類・口座番号:普通預金 0625255

口座名義:社会医学系専門医試験実施事務局

口座名義カナ:シャカイイガクケイセンモンイシケンジッシジムキョク

※勤務先名等、申請者名以外での振込の場合は、受験料入金後下記の事項をメールにてご連絡ください。

- ・振込日
- ・振込金額
- ・振込名義
- ・申請者の氏名

※申請者が特定できない場合、申請が受理されない可能性がございます。

(3)受験票等の送付

- ・受験票を送付しますので、専門医認定試験受験申請書に貼付した写真と同一の物を貼付してください。

(4) 申請書類受付先及び試験に関する連絡先:

E-mail: senmoni-shiken@abox3.so-net.ne.jp

郵送先: 〒160-0011 東京都新宿区若葉 2-5-16-303

(株)ヒューマン・リサーチ内 社会医学系専門医認定試験事務局 宛

7. 試験内容:

I. 筆記試験

(1) 筆記試験の目的

7つの基本知識の基本事項のおよび主分野、副分野で修得すべき専門事項について、社会医学系専門医として必要な最低限の知識、技術の内、筆記試験に適すと考えられるものに関して、個別の到達度を見ることを目的とする。

(2) 筆記試験の方法

CBT 試験方式による試験実施。受験生は指定された時間に事前に予約した試験会場において、WEB 上での出題問題に対して回答する。試験時間は1時間。選択式問題。

A 問題 7つの基本知識から各4題出題の合計28題。

B 問題 (1)主分野と(2)副分野(2分野)

主分野から12題+副分野から各5題の合計22題とする。

主分野からの12題は、基本問題5題、応用問題7題とする。

3 分野	7 つの基本知識
行政・地域	1. 公衆衛生総論
	2. 保健医療政策
	6. 健康危機管理
産業・環境	4. 行動科学
	7. 環境・産業保健
医療	3. 疫学・医学統計
	5. 組織経営・管理

※主分野とは、プログラム修了時の主分野をいう。(申請書に記載されたもの)

※基本プログラム e ラーニングコンテンツ第2版(4月1日現在)の内容に準じ問題を出題します。

II. 面接試験

(1) 面接試験の目的

面接試験では、実践レポートや専攻医手帳の内容について、個々の知識と関連領域の知識との整合性や知識の総合性、経験の程度、問題解決能力、総合的評価能力、コミュニケーション能力を見ることを目的とする。

(2) 面接試験の方法

WEB 上で遠隔面談ツール(Zoom)を使用して実施する。

個別面談を複数の面接試験委員の下で約 10 分程度実施する。

面接に際して、自身の実践経験レポートを見てもよい。

III. グループワーク

(1) グループワークの目的

グループワークは、社会医学系専門医としての自覚を持つために、社会医学系専門医

のあるべき姿などについて討論をする。

(2) グループワークの方法

WEB 上で遠隔面談ツール (Zoom) を使用して実施する。

討論は 1 グループ 8 人程度で構成されるグループ内で実施する。

グループワークは、試験開始後に司会進行役、書記役、発表役を決め、出題されたテーマについてディスカッションを行う。

- ・司会進行役: グループワークの司会進行を担う
 - ・書記役: チャット機能、クリップボード機能、Word 等を利用して議事を記録する
 - ・発表役: グループワークの最後にディスカッションの内容を発表する
- ※詳細については、受験票送付時同封の案内にてお知らせします。

8. 合否判定

合否判定は、筆記試験の点数と面接試験・グループワークの点数を総合して判定する。
試験結果は、10 月中を目途に通知する。

9. 試験スケジュール(案)

9 月 6 日(土)

13 時～14 時

※受験者は開始 30～15 分前までに各会場にて受付を行ってください。(30 分以上の遅刻については受験不可となる場合がございますのでご注意ください)

※試験会場は CBT ソリューションズが展開している全国の CBT テストセンターの中から各自で事前予約をしていただく形となります。詳細は書類審査後に改めてご案内します。

CBT テストセンター一覧

<https://cbt-s.com/examinee/testcenter/?type=cbt>

9 月 7 日(日)

9 時 30 分～18 時: 面接試験及びグループワーク

※受験者数によって時間が変更となる場合がございます。

※各自の面接及びグループワークの時間については、メールにてご連絡いたします。